

UNIVERSITY CONSORTIUM TOCHIGI NEWS LETTER



大学コンソーシアムとちぎ

発行 大学コンソーシアムとちぎ事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 (宇都宮大学内)

TEL・FAX 028-649-5666

URL: <http://www.consortium-tochigi.jp/>

2010.10.28

Vol.6



宇都宮大学フランス式庭園

「大学コンソーシアムとちぎ」による 地域イノベーション展開の可能性

—コンソーシアムという試み—

宇都宮大学 学長 進村 武男

自然と調和した持続可能な人間社会を実現するには、「科学技術」と「文化芸術」のバランスをとることが大切である。20世紀の科学技術万能時代は、結果的に地球環境の破壊を誘発し、21世紀はその修復に追われる奇妙な現象が起きている。何かにつけて先行き不透明感が漂うこの時期だからこそ、これまでの時代感覚を見直し、科学技術と文化芸術のバランスのとれた社会に変革していくことの重要性を再認識すべきであろう。

社会を変革するには思い切った「イノベーション」の展開が必要である。イノベーションとは、物事を新しい考え方で捉え、技術革新だけでなく、アイデアを出して社会的に意義のある新たな価値を創造し、社会を前進させる創造的な「人」の活動を意味する。

イノベーションは人によつて促進されることから、人と人との新たな「出会い」と「知恵を出し合う」場が必要になる。異分野の人との出会い、実践力を身につけた企業人との出会い、生活をともにする市民との出会い、産学官の連携から地域社会を大きく前進させるきっかけがつけられ

る。そして、「地域イノベーション」を推進するには、「地域特性に注目した新たな価値の創造」に全力を傾注する。そうすれば他の地域とは競合せず、地域イノベーションの展開はそのまま日本一・世界対応型の展開に繋げられる。

また、人は確実に年をとり活力を低下させる。このため、「出会いと交流の場」には若者や学生の参加が大切になる。気長に次代を担う人材の育成に努めることが必要である。若者や学生が参加しない組織や社会は衰退する。

このように考えてくると、科学技術と文化芸術のバランスがとれた社会の実現、異分野の連携によつて生み出される新たな価値の創造、アイデアの創出、そして、人材の育成、次代を担う学生の参加がイノベーション展開の基盤的な事項に見えてくる。この基盤的事項を無理なく満たしている枠組みが、すなわち「大学コンソーシアムとちぎ」ではなからうか。「大学コンソーシアムとちぎ」による地域イノベーションの展開は十分に可能であると確信しており、その実現に期待している。

大学コンソーシアムとちぎ

学生活動支援事業

平成21年度に採択された
学生支援事業は以下の
4事業でした。

とちぎのわ'09

事業名

機関名

宇都宮大学・宇都宮共
和大学・白鷗大学・国際
医療福祉大学・作新学
院大学・文星芸術大学
とちぎのわ

団体等名

高木 大輔

責任教職員

宇都宮大学国際学部
社会学科4年

支援金額

100,000円

実施時期

平成21年8月9日(日)

実施場所

オリオンスクエア
事業の内容等2009年8月9日(日)、オリオンスクエアで
合同学園祭「とちぎフェス90」を実施した。具体的
にはステージ、広場で栃木県内の各当地タイズ大
会、各大学のサークルによるバンド演奏、ダンスシ
ョー、ティーケランプリ(お笑い大会等)を行った。「生命のメッセージ展in国際医療福祉大学」プレ企画
「あなたの大切なもの」モザイクアートプロジェクト

事業名

機関名

国際医療福祉大学
生命のメッセージ展
実行委員会

団体等名

田島 みか

責任教職員

国際医療福祉大学医
療福祉学部医療福祉
学科3年

支援金額

100,000円

実施時期

平成22年1月～3月31日
(応募期間)

実施場所

国際医療福祉大学学内
事業の内容等「生命のメッセージ展in国際医療福祉
大学」におけるプレ企画の一つとし
て、「あなたの大切なもの」モザイクアまた、各大学のブースでは、それぞれの大学の
特色を生かした催しを行った。宇都宮大学から
は国際協力サークル「KAKEHASHI SEEDS」に
よるフェアトレード商品を販売し、宇都宮共和
大学の「都市・アムニティ研究会」は仙台市と宇
都宮市の写真を展示・比較し、宇都宮市が仙
台市に学ぶ点を来場者に説明した。国際医療福
祉大学の看護学生(有志参加)は、簡単な健康
診断を実施し、文星芸術大学の学生は似顔絵
コーナーを、作新学院のサークルが「あな
たの大切なもの」心理テストを行った。さらに、白
鷗大学の「フレイリダー」・宇都宮大学の「あめ
んぼう」両サークルが共同でブース内の子どもた
ちが遊べることもバースを設置した。
今回の学園祭では、各大学の連携以外にも、
栃木県内で活躍されている団体・機関等との連
携も試みた。県内で活躍されている大道芸人さ
んによるパフォーマンス、オリオン通りで人気のパ
ースタフさんのパフォーマンスをステージ上で行っ
た。
テント内のブースでは、宇都宮国際交流センタ
ーを通じて協力を要請した「台湾友好会」、「ミ
ナトング(タイ料理)」にそれぞれ台湾スイーツ、
タイ焼きそば等の販売を行っていた。

緑を育てるための学生交流会

事業名

機関名

宇都宮大学
NPOとちぎ生涯学習
研究会
村上 滯生
宇都宮大学農学部農
業経済学科1年

団体等名

藤井 佐知子

責任教職員

宇都宮大学教育学部

支援金額

100,000円

実施時期

平成21年12月12日
16時から19時

実施場所

宇都宮大学 大学会館
食堂事業の内容等
宇都宮大学にて12月12日に第5回
緑を育てるための学生交流会を開催
いたしました。
第一部「環境問題に関する後援会」

烏山和紙を使った雑貨の提案

事業名

機関名

宇都宮共和大学
松本晃子ゼミ
大塚 友久

団体等名

宇都宮共和大学シテイ
ライフ学部2年

責任教職員

松本 晃子
宇都宮共和大学
専任講師

支援金額

100,000円
(31,366円使用、
68,634円返金)

実施時期

平成21年12月5日(日)

実施場所

宇都宮共和大学
宇都宮シティキャンパス事業の内容等
「伝統工芸」烏山和紙「宇都宮の工業として
生産されていた帽子の材料であった「木片織
り」を再現させ、伝統工芸の新しい展開を試
みた。では、宇都宮大学の進村武男学長をは
じめ、栃木県環境森林部地球温暖化対
策課環境学習・保全担当 河保雅久様、
宇都宮市環境部長津田昌利様、社団
法人栃木県造園建設業協会会長高梨
道太郎様をお招きして環境問題に対
して、植樹活動や栃木という自然に多
く恵まれながらも負の遺産とも言われ
る足尾地区にスポットを当て話を頂き
ました。
第二部では親睦会を通し、大学の枠
を越えて親睦を深めることができました。
活動実施状況はNPOとちぎ生涯
学習研究会の母体であるNPO法人と
ちぎ生涯学習研究会HPに記載してあ
ります。
(http://www.geocities.jp/npo_1st/support.htm)まず、平成21年5月に「木片織り」の歴史を
知るために昭和40年代後半まで操業していた
神野スバルトリ株式会社神野喜三郎氏に、
当時の様子をヒアリングすることからスタート
した。
木片と和紙が似た材料であることから、和
紙から木片織りを真似た帽子や新しい商品開
発のプレゼンテーションマップ(アウトドア缶詰
め)を作成し、同年7月にはマップを持参して烏
山和紙会の福田氏を訪問して開発案のプレゼン
テーションを行った。同時に和紙の製造過程を見
学させてもらいながら、那須烏山市への観光を
検討。
10月に2年前に行った宇都宮市民のアンケ
ートを行い、宇都宮の地域ブランドとしての伝
統工芸品の認知度を検討。さらに松本先生の
行った首都圏へのアンケート調査と同じ項目も
入れて、首都圏と宇都宮市民の意識の差をま
とめた。11月29日には東京・八王子にある和紙
博物館及び池袋の伝統工芸館を見学し、和紙
と伝統工芸の見聞を広めた。
これらを12月5日に行われた栃木県学生&
企業研究発表会にて発表した。

ノーベル賞受賞者益川先生が語る「科学と社会」を テーマにした、記念講演会と討論会を開催。



平成22年5月15日、栃木県総合文化センターメインホールにて、大学コンソーシアムとちぎ設立5周年記念事業が開催されました。第I部には、2008年ノーベル物理学賞受賞 京都産業大学 益川敏英教授より「科学と社会」をテーマに、高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 副所長 山内正則教授より「自然の非対称性の発見」をテーマに記念講演が開催されました。また、第II部として、「科学する楽しさ」をテーマに、講演



者と中大高生を交えたQ&A討論会が行なわれました。会場は約千名の方で埋め尽くされ、みなさん熱心に講演に耳を傾けていました。第II部の討論会では出演した学生が緊張しながらもしっかりとした発言で先生方にさまざまな角度から質問をしました。



平成22年8月30日、チサンホテル宇都宮にて、学長懇談会および福田栃木県知事との懇談会が開催されました。懇談会では「栃木県」と「大学コンソーシアムとちぎ」の連携強化や、組織的な留学生支援への取り組み等を協議とし、実施に向けて、活発な意見交換が行なわれました。



平成22年度学長懇談会 および 栃木県知事との懇談会を開催。



平成22年7月31日、マロニエプラザを会場に高校生を対象とした栃木県大学ガイダンスセミナーが開催されました。会場では各大学の進学相談、センター入試ガイダンス、および足利大学、宇都宮文星短期大学、宇都宮大学による模擬授業も行なわれ、高校生で賑わいました。



栃木県大学ガイダンス セミナーを開催。





大学コンソーシアムとちぎの ホームページが 公開されています。

<http://www.consortium-tochigi.jp/>



大学コンソーシアムとちぎではホームページを公開しております。大学コンソーシアムについてはもちろん、学生のみならずには連携講座のシラバスが掲載されており、高校生や社会人の方も受講可能なオリジナル授業科目の申込みこちらから出来ます。

また、加盟する各大学の最新情報や、オープンキャンパス情報もチェックできます。

大学コンソーシアムとちぎ役員（平成22年4月1日現在）

理事長	進村 武男	宇都宮大学長
副理事長	牛山 泉	足利工業大学長
副理事長	北島 政樹	国際医療福祉大学長
副理事長	上野 憲示	文星芸術大学長
理事	谷萩 昌道	足利短期大学長
理事	須賀 英之	宇都宮共和大学長・宇都宮短期大学長
理事	上野 孝子	宇都宮文星短期大学長
理事	荻谷 勇雅	小山工業高等専門学校長
理事	太田 正廣	関東職業能力開発大学校長
理事	中村 幸弘	國學院大學栃木短期大学長
理事	太田 周	作新学院大学長・作新学院大学女子短期大学部学長
理事	輿水 優	佐野短期大学長
理事	高久 史磨	自治医科大学長
理事	沖永 佳史	帝京大学長
理事	寺野 彰	獨協医科大学長
理事	森山 眞弓	白鷗大学長
理事	鯨井 佑士	放送大学栃木学習センター所長
理事	高橋 正英	栃木県総合政策部長
理事	板橋 敏雄	社団法人栃木県経済同友会筆頭代表幹事
理事(事務局)	渡辺 直樹	宇都宮大学理事
監事	内野 直忠	学校法人船田教育会監事
監事	関澤 繁	社団法人栃木県経済同友会専務理事

編集後記

大学コンソーシアムとちぎは、平成17年4月に発足し、6年目を迎えた。

本大学コンソーシアムは、広く地域社会や産業界の活性化に貢献し、魅力ある栃木県づくりを目指すことを目的としております。その目的を達成するためには、産学官連携を始め県民、市民と共生し地域力を掘り起こすシンクタンクの役割を担うことが必要であると思っています。とは言っても「大学コンソーシアムとちぎ」の知名度はまだ十分に認知されているとは思いませんし、序々にでも知名度をあげるために、前述の産学官連携による特色ある事業の展開や地域住民との交流の場の展開が必要であり実施していくことが重要とかがええます。本大学コンソーシアムとちぎ活動の一助となるよう事務局としてサポートしていきたいと思ひます。それには、構成機関の担当者等の皆様のご協力、ご鞭撻が必須であります。お忙しいとは思ひますがご協力の程よろしくお願ひいたします。

本大学コンソーシアムとちぎが、皆様から親しまれ、活躍の場となるよう努力してまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

事務局担当 原 正巳

大学コンソーシアムとちぎ参加校 50音順

足利工業大学 足利短期大学 宇都宮共和大学 宇都宮短期大学 宇都宮大学
宇都宮文星短期大学 小山工業高等専門学校 関東職業能力開発大学校 國學院大學栃木短期大学 国際医療福祉大学
作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 佐野短期大学 自治医科大学 帝京大学
獨協医科大学 白鷗大学 文星芸術大学 放送大学栃木学習センター